

2021年度 東北医科薬科大学 化学 解答速報(1月23日実施分)
医学部

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
答	6	3	6	3	1	3	5	3	6	5	5	3	7	6	7
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25					
	5	8	2	7	5	4	9	5	4	5					

講評

全体的に標準の難易度であり、取り組みやすい問題構成であった。化学基礎からの出題の割合が多く、確実に得点したいところである。【Ⅱ】ではファンデルワールスの状態方程式について出題され、分子間力の影響と分子自身の体積の影響を考慮する問題であったが、問題集等で触れていれば完答を目指せたであろう。計算量が多いため、慎重に計算を進めていかなければならない。【Ⅲ】では沈殿滴定のモール法について出題され、発展的な内容であった。【Ⅳ】では炭化水素からの出題で、テトラクロロプロパンの異性体を、光学異性体まで考えることに注意が必要であった。知識事項に関しては細かい部分まで確認することが必要不可欠であり、計算問題に関しては立式を正しく行い、精度の高い計算力が求められている。全体として70%以上の得点率を目指したい。